

俳句

砥部句会



松手入見様見真似もならぬかな

大西 一教

宮出しの人の熱気や雨はじく

篠崎 伶子

鶴鴿の手ごろな石にみちくさず

竹内 成美

バッカスも腰抜かしたるましら酒

長曾我部弓子

開け放つ古民家抜ける秋の風

中岡セツコ

池の面の森閑として萩零る

長戸ふじ子

猿酒や夜ごと天狗の出るといふ

野村タカ子

川沿ひのジヨギングコース曼殊沙華

廣末 榮子

地方紙に紅葉の名所拾ひ読み

福岡いつ子

猿酒を交はしまタギの夜の更けぬ

松林 静子

両の手は立ち上がるため秋の暮

宮田 弘道

玄関の薄を門と成せる家

向井 章子

生へ揃ふ双葉に朝の露しとど

向井 初子

おらぬ間に呑んでやろうかましら酒

森 安子

赤と黄の美しき深山の落葉かな

相原 憲子

鶺鴒…長い尾を上下しきりに動かす様子から「石叩き」



セブロセキレイ

も言われる野鳥。季節的な移動をしない

留鳥だが、秋の季語。

猿酒(ましら酒)…猿が山びどうやアケビなど

の実をとって、木の洞や岩のくぼみに貯えておいたものに雨水がたまり、発酵してできた酒とされるちよっとファンタジーな秋の季語。

消費者力アップ通信

見るだけでいいからと展示会に誘われて…「次々販売」に注意！

相談事例

一人暮らしの母親が、呉服店から展示会に誘われ、次々と高額な契約をしていることがわかった。
毎月のクレジットカード会社への支払額が総額30万円を超えており、年金収入だけの母にはとても支払えない。
そもそも、母は腰が曲がっており着物を着られる姿勢ではないし必要でもなかったが、断れず契約していたようだ。

アドバイス

- 見るだけでいいからと着物などの展示会に誘われ、断り切れず次々と購入させられ(次々販売といえます)支払いに困っているという相談が寄せられています。
- 強引な勧誘をされても、必要なければきっぱりと断りましょう。断る自信がなければ行かないことが最善です。
- 高齢者が「次々販売」の被害にあつて、生活が困窮するなど日常への影響が大きくなります。家族や周囲の人は、日ごろから高齢者の自宅に不審な書類や商品がないか、様子がおかしくないかなど、気をつけておきましょう。

相談窓口 消費者ホットライン ☎ 1888

平日の8時30分～17時15分は商工観光課内消費生活相談窓口、土・日曜日、祝日の10時～12時、13時～16時は国民生活センターにつながります。

むかしの道具

振り子時計(柱時計、掛時計)

振り子が一定の周期で揺れる等時性を利用した、柱や壁に掛けて使う機械時計です。1657年頃、等時性の発見者ガリレオと親交のあった学者により発明されたといわれ、改良を重ねながら長年使用されました。日本には1873年(明治6)にゼンマイ式の振り子時計が輸入されました。同年に太陰暦が廃止され、太陽暦が採用されたため、太陰暦に対応した和時計は使われなくなっていくきます。

2年後の1875年には日本初の振り子時計が作られ、大正期頃には広く普及しました。振動に弱いため地震の揺れで止まってしまふこともあり、より正確なクォーツ時計が発明されると振り子式の時計は使われなくなりしました。現在ではほぼ生産されておらず、あまり見られなくなっています。



写真は明治末期の精工舎(現・セイコー)製で、伊予銀行大洲支店に掛けられています。

(砥部むかしのくらし館所蔵)

問 社会教育課 ☎ (962) 5952